

## Ⅱ. 都城市公共下水道事業変更計画書

公共下水道管理者

都城市長

工事着手の年月日

昭和 35 年 3 月 31 日

工事完成予定年月日

令和 6 年 3 月 31 日

令和 11 年 3 月 31 日



(第1表の1)

予定処理区域調書(汚水)				
予定処理区域の面積	2,393.0 2,490.8	ヘクタール	予定処理区域内の地名	宮崎県都城市 区域は下水道計画一般図表示のとおり
処理区の名称	面積 (単位:ヘクタール)		摘要	
中央処理区	620.3 638.8		うち合流区域90.0ヘクタール	
都城処理区	1,228.7 1,262.8			
山之口処理区	157.0			
高城処理区	148.0 193.2			
山田処理区	99.0			
高崎処理区	140.0			
計	2,393.0 2,490.8			

(第1表の2)

予定処理区域調書(雨水)			
予定処理区域の面積	2250.3 ヘクタール	予定処理区域内の地名	宮崎県都城市 区域は下水道計画一般図表示のとおり
処理区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	摘要	
姫城排水区	354.5	区域外流入 287.2 ha	
沼川排水区	115.8		
年見排水区	384.2		
ひらはし排水区	199.8		
祝吉排水区	125.0	区域外流入 6.6 ha	
郡元排水区	93.0	区域外流入 6.5 ha	
志比田排水区	134.0	区域外流入 11.4 ha	
鷹尾排水区	99.1	区域外流入 148.4 ha	
岳之下排水区	108.0		
五十市排水区	74.9	区域外流入 61.4 ha	
沖水排水区	148.0	区域外流入 50.2 ha	
横松排水区	76.0		
花木排水区	81.0	区域外流入 20.0 ha	
高城排水区	90.0		
穂満坊排水区	55.8	区域外流入 2.2 ha	
軍人原排水区	2.2	区域外流入 0.8 ha	
谷頭排水区	60.0		
新田東排水区	42.8	区域外流入 19.7 ha	
新田西排水区	6.2	区域外流入 3.4 ha	
計	2250.3		

(第2表)

計画降雨調書			
排水区の名称	計画降雨		摘要
	1時間あたりの降雨量 (単位:ミリメートル)	確率年	
-	-	-	-

(第3表の1)

吐口調書(汚水)							
処理区の名称	主要な吐口の 種類	主要な吐口の 番号又は名称	主要な吐口の 位置	計画放流量 (単位:立方メートル毎秒)	放流先の名称	放流先の水位(L.W.L.) (単位:TPメートル)	摘要
中央処理区	処理施設	中央終末処理場 放流渠	都城市 志比田町	0.204	年見川	-	
				0.255		-	
都城処理区	処理施設	都城浄化センター 放流渠	都城市 吉尾町	0.326	大淀川	-	
				0.398		-	
山之口処理区	処理施設	山之口浄化センター 放流渠	都城市山之口町 富吉	0.012	花の木川	-	
				0.026		-	
高城処理区	処理施設	高城浄化センター 放流渠	都城市高城町 穂満坊	0.012	高城雨水幹線	-	
				0.029		-	
山田処理区	処理施設	山田浄化センター 放流渠	都城市山田町 中霧島	0.009	丸谷川	-	
				0.020		-	
高崎処理区	処理施設	高崎浄化センター 放流渠	都城市高崎町 大牟田	0.011	田平用排水路	-	
				0.018		-	

(第3表の2-1)

吐口調書(雨水)							
処理区の名称	主要な吐口の 種類	主要な吐口の 番号又は名称	主要な吐口の 位置	計画放流量 (単位:立方メートル毎秒)	放流先の名称	放流先の水位(H.W.L.) (単位:T.P.メートル)	摘要
姫城排水区	分流式 雨水幹線	姫城第6号 雨水幹線吐口	都城市早鈴町	3.516	姫城川	- -	
	分流式 雨水幹線	小鷹雨水幹線 吐口	都城市 上長飯町	6.988	姫城川	- -	
	分流式 雨水幹線	姫城第4号 雨水幹線吐口	都城市早鈴町	9.491	姫城川	- -	
	分流式 雨水幹線	姫城第9号 雨水幹線吐口	都城市 甲斐元町	3.738	荻原川	- -	
	分流式 雨水幹線	姫城第10号 雨水幹線吐口	都城市 下長飯町	4.787	荻原川	- -	
	分流式 雨水幹線	一万城第2 雨水幹線吐口	都城市花線町	24.515	柳河原川	- -	
沼川排水区	分流式 雨水幹線	沼川第1号 雨水幹線吐口	都城市西町	2.998	大淀川	- 141.560	
	分流式 雨水幹線	沼川第2号 雨水幹線吐口	都城市松元町	15.119	大淀川	- 141.101	
年見排水区	分流式 雨水幹線	年見第4号 雨水幹線吐口	都城市宮丸町	4.373	年見川	- -	
	分流式 雨水幹線	菑蒲原 雨水幹線吐口	都城市 菑蒲原町	9.489	年見川	- -	
	分流式 雨水幹線	早水 雨水幹線吐口	都城市早水町	2.899	年見川	- -	
ひらはし排水区	分流式 雨水幹線	ひらはし第1号 雨水幹線吐口	都城市下川東 二丁目	24.024	大淀川	- 139.252	
祝吉排水区	分流式 雨水幹線	祝吉第1号 雨水幹線吐口	都城市下川東 四丁目	26.433	大淀川	- 138.608	
郡元排水区	分流式 雨水幹線	郡元第1号 雨水幹線吐口	都城市上川東 四丁目	4.151	川東用排水路	- -	
	分流式 雨水幹線	郡元第3号 雨水幹線吐口	都城市上川東 四丁目	2.186	沖水川	- -	
志比田排水区	分流式 雨水幹線	志比田第1号 雨水幹線吐口	都城市 志比田町	7.289	大淀川	- 139.827	
	分流式 雨水幹線	志比田第3号 雨水幹線吐口	都城市 志比田町	5.024	大淀川	- 139.252	
	分流式 雨水幹線	志比田第4号 雨水幹線吐口	都城市 志比田町	3.779	大淀川	- 138.832	
	分流式 雨水幹線	志比田第5号 雨水幹線吐口	都城市 志比田町	2.007	横市川	- -	
	分流式 雨水幹線	志比田第6号 雨水幹線吐口	都城市 志比田町	3.342	横市川	- -	
鷹尾排水区	分流式 雨水幹線	鷹尾第11号 雨水幹線吐口	都城市 志比田町	44.140	大淀川	- 140.403	

(第3表の2-2)

吐口調書(雨水)							
処理区の名称	主要な吐口の 種類	主要な吐口の 番号又は名称	主要な吐口の 位置	計画放流量 (単位:m <sup>3</sup> /秒)	放流先の名称	放流先の水位(H.W.L.) (単位:T.P.m)	摘要
岳之下排水区	分流式 雨水幹線	岳之下第1号 雨水幹線吐口	都城市鷹尾 一丁目	2.178	大淀川	- -	
	分流式 雨水幹線	岳之下第3号 雨水幹線吐口	都城市鷹尾 一丁目	5.422	大淀川	- 140.626	
五十市排水区	分流式 雨水幹線	五十市第1号 雨水幹線吐口	都城市都島町	15.060	大淀川	- 142.019	
	ポンプ施設	都島ポンプ場 吐口	都城市都島町	1.500	大淀川	- 142.560	
沖水排水区	分流式 雨水幹線	沖水第1号 雨水幹線吐口	都城市吉尾町	27.762	排水路	- -	
	分流式 雨水幹線	吉尾雨水幹線 吐口	都城市吉尾町	10.861	排水路	- -	
横松排水区	分流式 雨水幹線	横松雨水幹線	都城市山之口町 富吉	4.642	花の木川	- -	
花木排水区	分流式 雨水幹線	花木雨水幹線	都城市山之口町 花木	6.917	花の木川	- -	
高城排水区	分流式 雨水幹線	高城雨水幹線	都城市高城町 穂満坊	30.058	大淀川	- 131.630	
穂満坊排水区	分流式 雨水幹線	穂満坊雨水幹線	都城市高城町 石山	5.584	田島川	- -	
谷頭排水区	分流式 雨水幹線	谷頭雨水幹線	都城市山田町 中霧島	4.696	丸谷川	- -	
新田東排水区	分流式 雨水幹線	吐口1	都城市高崎町 大牟田白岸	6.496	農業排水路	- -	
	分流式 雨水幹線	吐口2	都城市高崎町 大牟田堀込	3.619	農業排水路	- -	
新田西排水区	分流式 雨水幹線	吐口3	都城市高崎町 大牟田浮免	3.944	高崎川	- -	

(第4表の1)

管渠調書(汚水)				
処理区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘要
中央処理区	⊙ 200 ~ ⊙ 1,200	14,640 14,170	12	点検方法: マンホール内からの管内目視、TVカメラ調査 頻度: 5年に1回以上
都城処理区	⊙ 150 ~ ⊙ 1,350	27,840	7	"
	⊙ 200 ~ ⊙ 1,350	27,080	6	
山之口処理区	⊙ 200 ~ ⊙ 400	3,480	0	"
高城処理区	⊙ 200 ~ ⊙ 450	2,860	0	"
	⊙ 100 ~ ⊙ 450	4,410		
山田処理区	⊙ 200 ~ ⊙ 400	3,960	1	"
高崎処理区	⊙ 150 ~ ⊙ 450	4,700	1	"
計		57,480	21	
		57,800	20	



(第4表の2-1)

管渠調書(雨水)												
排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)				延長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘要					
姫城排水区	┘	1,300	×	1,000	～	┘	3,600	×	2,100	1,100	0	
	┘	2,800 1,700	×	1,800	～	┘	4,000 2,800	×	2,000	3,820	0	
	□	1,200	×	1,400	～	□	4,000	×	1,800	2,070	0	
	┘	2,800 1,700	×	1,800	～	┘	12,450 10,450	×	2,000	140	0	
	小計									7,130	0	
沼川排水区	┘	1,700 1,100	×	1,500	～	┘	5,200 3,200	×	2,450	1,190	0	
	□	1,800	×	1,400	～	□	1,400	×	1,400	690	0	
	小計									1,880	0	
年見排水区	┘	1,000	×	1,600	～	┘	1,400	×	1,400	110	0	
	┘	2,480 800	×	1,400	～	┘	2,000 1,600	×	1,200	490	0	
	□	1,400	×	1,000	～	□	3,100	×	1,300	840	0	
	◎	1,100								10	0	
	小計									1,450	0	
ひらはし排水区	┘	1,100	×	1,100	～	┘	4,400	×	2,100	1,680	0	
	┘	2,600 1,640	×	1,600	～	┘	3,400 2,140	×	2,100	1,680	0	
	□	1,400	×	1,000	～	□	1,700	×	1,000	520	0	
	小計									3,880	0	
祝吉排水区	┘	1,200	×	1,000	～	┘	4,000	×	1,800	1,010	0	
	┘	1,200 700	×	1,000	～	┘	2,000 1,600	×	1,200	500	0	
	□	1,200	×	1,200	～	□	5,200	×	1,800	3,180	0	
	◎	1,350								100	0	
	小計									4,790	0	
郡元排水区	┘	1,200	×	1,000	～	┘	2,500	×	1,300	1,930	0	
	□	1,200	×	1,200	～	□	2,500	×	1,000	310	0	
	小計									2,240	0	

(第4表の2-2)

管渠調書(雨水)												
排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)			延長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘要						
志比田排水区	▣	1,100	×	1,100	~	▣	1,800	×	1,800	2,400	0	
	▣	1,400	×	1,400						30	0	
	小計									2,430	0	
鷹尾排水区	▣	1,100	×	1,100	~	▣	4,000	×	3,000	1,960	0	
	▽	4,650	×	4,500				×		190	0	
	▣	1,100	×	1,100	~	▣	5,500	×	3,000	2,730	0	
	小計									4,880	0	
岳之下排水区	▣	1,200	×	1,200	~	▣	2,000	×	1,500	1,170	0	
	▽	2,100	×	1,650	~	▽	4,500	×	2,930	130	0	
	⊙	1,500								50	0	
	小計									1,350	0	
五十市排水区	▣	1,100	×	1,100	~	▣	2,300	×	2,300	1,030	0	
	▣	1,100	×	1,000	~	▣	3,000	×	3,000	1,200	0	
	小計									2,230	0	
沖水排水区	▣	1,000	×	1,000	~	▣	4,500	×	2,700	5,500	0	
	▣	1,200	×	1,200	~	▣	4,500	×	2,100	3,930	0	
	小計									9,430	0	
横松排水区	▣	1,400	×	1,400	~	▣	1,500	×	1,500	500	0	
	▣	1,500	×	2,000						230	0	
	小計									730	0	
花木排水区	▣	1,400	×	1,400	~	▣	2,000	×	2,000	1,070	0	
	▣	1,500	×	1,500	~			×		370	0	
	小計									1,440	0	
高城排水区	▣	2,750	×	1,700	~	▣	3,200	×	2,700	160	0	
	▣	1,500	×	1,100	~	▣	2,700	×	1,950	1,260	0	
	▽	2,880	×	1,800	~	▽	4,500	×	2,800	2,090	0	
	▽	1,900					3,000				0	
小計									3,510	0		

(第4表の2-3)

管渠調書(雨水)													
排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)			延長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘要							
穂満坊排水区	㊦	1,300	×	1,450	～	㊦	1,300	×	1,600	790	0		
	小計									790	0		
軍人排水区													
谷頭排水区	㊦	1,200	×	1,200	～	2,000		×	1,100	1,370	0		
	⊙	1,800									40	0	
	小計									1,410	0		
新田東排水区	⊙	1,200			～	⊙	1,500			1,030	0		
	㊦	1,200	×	1,200	～	㊦	1,500	×	1,400	350	0		
	小計									1,380	0		
新田西排水区	㊦	2,200	×	1,300							180	0	
	㊦	2,200	×	1,300	～	㊦	2,200	×	1,500	30	0		
	小計									210	0		
合計									51,160	0			

(第5表の1-1)

処理施設調書								
終末処理場の名称	位置	敷地面積 (単位:ヘクタール)	計画放流水質 BOD 15 mg/L	処理方法 標準活性汚泥法	処理能力		計画処理人口 (単位:人)	摘要
					晴天日最大 (単位:立方メートル毎秒) 21,200 16,600	雨天日最大 (単位:立方メートル毎秒) 55,500 73,500		
中央終末処理場	都城市志比田5076番地	2.96	BOD 15 mg/L	標準活性汚泥法	21,200 16,600	55,500 73,500	20,100 17,600	計画汚水量 (晴天日最大) 18,700 m <sup>3</sup> /日 15,200 m <sup>3</sup> /日 計画汚水量 (雨天日最大) 55,500 m <sup>3</sup> /日 73,500 m <sup>3</sup> /日 流入水質 BOD 260 mg/L 240 mg/L SS 190 mg/L 雨天時放流水質 BOD 40 mg/L 以下 処理能力(全体計画) 21,200 m <sup>3</sup> /日 16,600 m <sup>3</sup> /日 計画汚水量(全体計画) (晴天日最大) 20,400 m <sup>3</sup> /日 13,400 m <sup>3</sup> /日
都城浄化センター	都城市吉尾町2560番地	6.50	BOD 15 mg/L	担体型投入型活性汚泥法	29,200 21,900		46,100 42,800	計画汚水量 (日最大) 28,200 m <sup>3</sup> /日 21,600 m <sup>3</sup> /日 流入水質 BOD 220 mg/L 290 mg/L SS 180 mg/L 240 mg/L 雨天時放流水質 BOD 40 mg/L 以下 処理能力(全体計画) 36,500 m <sup>3</sup> /日 21,900 m <sup>3</sup> /日 計画汚水量(全体計画) (晴天日最大) 36,500 m <sup>3</sup> /日 19,600 m <sup>3</sup> /日
山之口浄化センター	都城市山之口町 富吉3111番地	0.74	BOD 15 mg/L	オキシデーションディッチ法	1,100		2,470 2,290	計画汚水量 (日最大) 1,040 m <sup>3</sup> /日 1,060 m <sup>3</sup> /日 流入水質 BOD 190 mg/L 280 mg/L SS 150 mg/L 230 mg/L 処理能力(全体計画) 1,400 m <sup>3</sup> /日 1,100 m <sup>3</sup> /日 計画汚水量(全体計画) (晴天日最大) 1,200 m <sup>3</sup> /日 890 m <sup>3</sup> /日

(第5表の1-2)

処理施設調査								
終末処理場の名称	位置	敷地面積 (単位:ヘクタール)	計画放流水質	処理方法	処理能力		計画処理人口 (単位:人)	摘要
					晴天日最大 (単位:立方メートル毎秒)	雨天日最大 (単位:立方メートル毎秒)		
高城浄化センター	都城市高城町 穂版坊1170番地2	1.26	BOD 15 mg/L	オキシデーションディッチ法	1,100 1,400		2,430 3,230	計画汚水量 (日最大)  1,030 m <sup>3</sup> /日 1,310 m <sup>3</sup> /日  流入水質 BOD 230 mg/L 220 mg/L SS 180 mg/L 200 mg/L 処理能力(全体計画) 1,400 m <sup>3</sup> /日 1,100 m <sup>3</sup> /日 計画汚水量(全体計画) (晴天日最大) 1,310 m <sup>3</sup> /日 1,080 m <sup>3</sup> /日 農業集落排水処理施設(上水流地区) を下水道に接続し、高城浄化センター で処理
山田浄化センター	都城市山田町 中霧島2727番地1	1.2	BOD 15 mg/L	オキシデーションディッチ法	950		1,750 1,980	計画汚水量 (日最大)  790 m <sup>3</sup> /日 920 m <sup>3</sup> /日  流入水質 BOD 210 mg/L 220 mg/L SS 160 mg/L 210 mg/L 処理能力(全体計画) 1,250 m <sup>3</sup> /日 950 m <sup>3</sup> /日 計画汚水量(全体計画) (晴天日最大) 1,070 m <sup>3</sup> /日 780 m <sup>3</sup> /日
高崎浄化センター	都城市高崎町 大牟田宇城山3890番地	1.32	BOD 15 mg/L	オキシデーションディッチ法	1,000		1,900 1,810	計画汚水量 (日最大)  920 m <sup>3</sup> /日 820 m <sup>3</sup> /日  流入水質 BOD 180 mg/L 220 mg/L SS 140 mg/L 220 mg/L 処理能力(全体計画) 1,000 m <sup>3</sup> /日 計画汚水量(全体計画) (晴天日最大) 920 m <sup>3</sup> /日 690 m <sup>3</sup> /日

(第5表の2-1)

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
中央終末処理場	流入管渠	1 式	⊙1,000 鉄筋コンクリート管	流量 0.642 m <sup>3</sup> /秒 —	1/1
	沈砂池	2 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 1,388 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日 1,800 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	2/2
	主ポンプ設備	4 台	電動機直結立軸型 斜流渦巻ポンプ	約50 m <sup>3</sup> /min	4/4(内1台予備)
	最初沈殿池	6 5 池	鉄筋コンクリート造り 矩形一方向常流式 覆蓋付	水面積負荷 25.6 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日 約25 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	6/6 5/5
	調整槽(雨水滞水池)	1 池	鉄筋コンクリート造り	容量 720 m <sup>3</sup> /日	1/1
	エアレーションタンク	5 4 池	鉄筋コンクリート造り	HRT 約9 hr	5/5 4/4
	送風設備	4 3 台	ルーツブロワー	113 m <sup>3</sup> /min 約70 m <sup>3</sup> /min	4/4(内1台予備) 3/3(内1台予備)
	最終沈殿池	6 5 池	鉄筋コンクリート造り 矩形一方向常流式	水面積負荷 20 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	6/6 5/5
	塩素混和地	1 池	鉄筋コンクリート造り 長方形迂回流式	接触時間 約21 min 15 min	1/1
	放流管渠	1 式	⊙1,000 鉄筋コンクリート管	流量 0.644 m <sup>3</sup> /秒 —	1/1
	汚泥濃縮タンク	2 1 基	鉄筋コンクリート造り 重力式 覆蓋付	固形物負荷 約45 kg/m <sup>2</sup> ・日 60 kg/m <sup>2</sup> ・日	2/2 1/1
	機械濃縮機	2 台	遠心濃縮機	約20 m <sup>3</sup> /hr	2/2
	汚泥消化タンク	4 基	鉄筋コンクリート造り 嫌気性加温消化	消化日数 数34 日 40 日	4/4 4/3
	汚泥貯留タンク	1 基	鉄筋コンクリート造り 躯体タンク	貯留能力 約24 hr	1/1
	汚泥脱水機	2 台	スクリーンプレス	ろ過速度 150 kg/hr	2/2
	ガスタンク	2 1 基	水封式	貯留能力 約12 hr	2/2 1/1
	ボイラー	2 基		約1,070 kg/hr/基	2/2(内1台予備)
	総合機械棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	主ポンプ室、電気室 送風機室、発電機室 配電盤室、操作室 水質検査室、事務室	1/1
	脱水機棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	汚泥貯留タンク 汚泥脱水機	1/1
	場内給水設備	3 基	圧力式砂ろ過機	330 m <sup>3</sup> /日・基	
脱臭設備	1 式	土壌脱臭床		1/1	
バイパス水路	1 式	⊙500		1/1 合流式改善対策施設 (雨天時活性汚泥法)	

(第5表の2-2)

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
都城浄化センター	流入管渠	1 式	⊙ 800 鉄筋コンクリート管	水量 0.060 m <sup>3</sup> /秒 —	1/1
			⊙1,350 鉄筋コンクリート管	水量 0.474 m <sup>3</sup> /秒 —	1/1
	主ポンプ設備	4 3 台	渦巻斜流ポンプ	約44 m <sup>3</sup> /min 約33 m <sup>3</sup> /min	4/4(内1台予備) 3/2(内1台予備)
	固液分離槽	8 6 池	鉄筋コンクリート造り	ろ過速度 140 m/日	8/10 6/6
	担体投入型曝気槽	8 6 池	鉄筋コンクリート造り 簡易覆蓋付	BOD容積負荷 0.9 kg/m <sup>3</sup>	8/10 6/6
	送風設備	4 3 台	多段ターボブロワ	風量 約140 m <sup>3</sup> /min 風量 約110 m <sup>3</sup> /min	4/4(内1台予備) 3/3(内1台予備)
	上向ろ過池	8 6 池	鉄筋コンクリート造り 簡易覆蓋付	100 m/日	8/10 6/6
	塩素混和地	1 池	鉄筋コンクリート造り 長方形迂回流式 次亜塩素酸ソーダ	接触時間 約15 min	1/2 1/1
	放流ポンプ設備	4 3 台	水中ポンプ	約44 m <sup>3</sup> /min 約33 m <sup>3</sup> /min	4/4(内1台予備) 3/3(内1台予備)
	放流管渠	1 式	1,000 鉄筋コンクリート管	流量 0.534 m <sup>3</sup> /秒	1/1
	汚泥濃縮タンク	2 池	鉄筋コンクリート造り 重力式 覆蓋付	固形物負荷 約53 kg/m <sup>2</sup> ・日	2/3
				固形物負荷 約60 kg/m <sup>2</sup> ・日	2/2
	機械濃縮機	2 台	遠心濃縮機	約40 m <sup>3</sup> /hr	2/3(内1台予備) 2/2
	汚泥消化タンク	1 2 基	鉄筋コンクリート造り 嫌気性加温消化	消化日数 20 日	1/2 2/2
	汚泥貯留タンク	2 基	鉄筋コンクリート造り 躯体タンク	貯留能力 約24 hr	2/2
	ガスタンク	1 2 基	銅板製ドライシール	貯留能力 約24 hr	1/2 2/2
	消化ガス発電システム	1 式	炉筒煙管式 蒸気ボイラー		1/1
	汚泥脱水機	2 台	スクリュープレス	ろ過速度 377 kg/hr	2/2
	返流水ピット	1 池	鉄筋コンクリート造り	貯留時間 4.6 hr	1/1
	管理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	事務室、水質検査室 中央監視室	1/1
	機械棟	3 棟	鉄筋コンクリート造り	主ポンプ室、電気室 発電機室、脱水機室 汚泥貯留タンク	1/1
水処理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	送風機室	1/1	
機械濃縮棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	濃縮機室 電気室		
ガスタンク発電機棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	ガスエンジン室 電気室、温水機室		
処理水再利用施設	1 式			1/1	
脱臭設備	1 式	土壌脱臭床		1/1	

(第5表の2-3)

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
山之口浄化センター	流入管渠	1 式	⊙400 鉄筋コンクリート管	流量 0.046 m <sup>3</sup> /秒 —	1/1
	主ポンプ設備	2 台	水中汚水ポンプ	約1.5 m <sup>3</sup> /min・台 約1.7 m <sup>3</sup> /min・台	2/2(内1台予備)
	スクリーン設備	1 台	脱水機能付円筒 スクリーンユニット	約6.0 m <sup>3</sup> /min・台	1/1
	オキシデーションディッチ	1 池	鉄筋コンクリート造り 馬蹄形循環流水路式	エアレーション時間 約26 hr エアレーション時間 24 hr	1/2 1/1
	送風設備	2 台	縦軸型機械式 エアレーション装置	207.5 kg-O <sub>2</sub> /日・基	2/2
	最終沈殿池	1 池	鉄筋コンクリート造り 放射流円形沈殿池	水面積負荷 約7.3 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日 水面積負荷 8 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	1/2 1/1
	塩素混和地	1 池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 約33 min 接触時間 15 min	1/1
	放流管渠	1 式	⊙400 鉄筋コンクリート	流量 0.046 m <sup>3</sup> /秒 —	1/1
	汚泥濃縮タンク	1 基	円形シクナー型	固形物負荷 約16 kg/m <sup>2</sup> ・日 固形物負荷 30 kg/m <sup>2</sup> ・日	1/1
	汚泥貯留タンク	2 基	鉄筋コンクリート造り 軀形タンク	貯留日数 約12 日 貯留日数 3 日	2/2
	管理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	電気室、事務室 自家発電室	1/1 高城浄化センターにて 集中管理
	ポンプ棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	沈砂池、ポンプ室	1/1
	汚泥処理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	汚泥濃縮タンク 汚泥貯留タンク	1/1
	脱臭設備	1 式	土壌脱臭床		1/1

(第5表の2-4)

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
高城浄化センター	流入管渠	1 式	⊙400 鉄筋コンクリート管	流量 0.046 m <sup>3</sup> /秒 —	1/1
	主ポンプ設備	2 台	水中汚水ポンプ	約1.5 m <sup>3</sup> /min・台 約1.8 m <sup>3</sup> /min・台	2/2(内1台予備)
	スクリーン設備	1 台	脱水機能付円筒 スクリーンユニット	約6.0 m <sup>3</sup> /min・台	1/1
	オキシデーションディッチ	1 2 池	鉄筋コンクリート造り	エアレーション時間 約27 hr エアレーション時間 24 hr	1/2 2/2
	送風設備	2 台	縦軸型機械式 エアレーション装置	238 kg-O <sub>2</sub> /日・基 約250 kg-O <sub>2</sub> /日・基	2/2
		— 2 台	— スクリュウ型曝気機	— 約41 kg-O <sub>2</sub> /日・基	— 2/2
	最終沈殿池	1 2 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約9.9 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日 水面積負荷 8 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	1/2 2/2
	塩素混和地	1 池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 約50 min 接触時間 15 min	1/1
	放流管渠	1 式	⊙450 鉄筋コンクリート管	流量 0.046 m <sup>3</sup> /秒 —	1/1
	汚泥濃縮タンク	1 槽	円形シクナー型	固形物負荷 約10 kg/m <sup>2</sup> ・日 固形物負荷 30 kg/m <sup>2</sup> ・日	1/1
	汚泥貯留タンク	2 槽	鉄筋コンクリート造り 軀形タンク	貯留日数 約16.3 日 貯留日数 3 日	2/2
	汚泥脱水機	1 台	移動脱水車	処理能力 200 kg-Ds/hr 処理能力 130 kg-Ds/hr	1/2
	管理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	監視室、電気室、事務室 水質検査室、会議室	1/1
	ポンプ棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	沈砂池、ポンプ室	1/1
	汚泥処理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	汚泥濃縮タンク、汚泥貯留タンク 移動式脱水車車庫	1/1



(第5表の2-5)

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
山田浄化センター	流入管渠	1 式	◎400 鉄筋コンクリート管	流量 0.034 m <sup>3</sup> /秒 -	1/1
	主ポンプ設備	2 台	水中汚水ポンプ	約1.3 m <sup>3</sup> /min・台	2/2(内1台予備)
	スクリーン設備	1 台	脱水機能付円筒 スクリーンユニット	約6.0 m <sup>3</sup> /min・台	1/1
	オキシデーションディッチ	1 池	鉄筋コンクリート造り 馬蹄形循環流水路式	エアレーション時間 約31 hr エアレーション時間 24 hr	1/2 1/1
	送風設備	2 台	縦軸型機械式 エアレーション装置	174 kg-O <sub>2</sub> /日・基	2/2
	最終沈殿池	1 池	鉄筋コンクリート造り 円形放射流	水面積負荷 約5.9 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日 水面積負荷 8 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	1/2 1/1
	塩素混和地	1 池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 約59 min 接触時間 15 min	1/1
	放流管渠	1 式	◎350 鉄筋コンクリート管	流量 0.034 m <sup>3</sup> /秒 -	1/1
	汚泥濃縮タンク	1 基	円形シクナー型	固形物負荷 約8 kg/m <sup>2</sup> ・日 固形物負荷 30 kg/m <sup>2</sup> ・日	1/1
	汚泥貯留タンク	2 基	鉄筋コンクリート造り	貯留日数 約17.3 日 貯留日数 3 日	2/2
	管理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	電気室、事務室 自家発電室	1/1 高城浄化センターにて 集中管理
	ポンプ棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	沈砂池、ポンプ室	1/1
汚泥処理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	汚泥濃縮タンク 汚泥貯留タンク	1/1	

(第5表の2-6)

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
高崎浄化センター	流入管渠	1 式	◎450 鉄筋コンクリート管	流量 0.040 m <sup>3</sup> /秒 -	1/1
	主ポンプ設備	2 台	水中汚水ポンプ	約 1.4 m <sup>3</sup> /min・台	2/2(内1台予備)
	スクリーン設備	1 台	脱水機能付円筒 スクリーンユニット	約 5.6 m <sup>3</sup> /min・台	1/1
	分配槽	1 槽	鉄筋コンクリート造り		1/1
	オキシデーションディッチ	1 池	鉄筋コンクリート造り	エアレーション時間 約26 hr エアレーション時間 24 hr	1/1
	送風設備	2 台	縦軸型機械式 エアレーション装置	1.74 kg-O <sub>2</sub> /日・基	2/2
	最終沈殿池	1 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約6.9 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日 水面積負荷 8 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	1/1
	塩素混和池	1 池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 約33 min 接触時間 15 min	1/1
	放流管渠	1 式	◎450 鉄筋コンクリート管	流量 0.040 m <sup>3</sup> /秒 -	1/1
	汚泥濃縮タンク	1 基	鉄筋コンクリート造り	固形物負荷 9.8 kg/m <sup>2</sup> ・日 固形物負荷 30 kg/m <sup>2</sup> ・日	1/1
	汚泥貯留タンク	2 基	鉄筋コンクリート造り	貯留日数 約16 日 貯留日数 3 日	2/2
	管理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	事務室、電気室 自家発電室	1/1 高城浄化センター にて集中監視
	ポンプ棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	沈砂池、ポンプ室	1/1
	汚泥処理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	汚泥濃縮タンク、汚泥貯留タンク	1/1
脱臭設備	1 式	土壌脱臭床		1/1	

(第6表の1)

ポンプ施設調書						
ポンプ施設の名称	処理区 排水区 の名称	ポンプ施設の位置	敷地面積 (単位:ヘクタール)	揚水量		摘要
				晴天日最大 (単位:立方メートル毎分)	雨天日最大 (単位:立方メートル毎分)	
大王中継ポンプ場	中央処理区	都城市平江町37号6番2	0.43	13.4	20.1	合流
宮丸中継ポンプ場	中央処理区	都城市志比田町5076番地	-	5.4	-	中央終末処理場 敷地内 (分流汚水)
甲斐元ポンプ場	姫城排水区	都城市甲斐元町3371番1、3371番4	0.04	-	225.0	分流雨水
沼川ポンプ場	沼川排水区	都城市松元町、宮丸町	0.02	-	180.0	分流雨水
岳下ポンプ場	五十市排水区	都城市都島町154番8	0.03	-	150.0	分流雨水
都島ポンプ場	五十市排水区	都城市都島町82番7	0.15	-	90.0	分流雨水

(第6表の2)

ポンプ施設の敷地内の主要な施設					
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構造	能力	摘要
大王中継ポンプ場	沈砂池	2 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 1,800 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	
	主ポンプ	3 台	立軸斜流渦巻ポンプ	約 20 m <sup>3</sup> /min	3/3
	上屋	1 棟	鉄筋コンクリート造り		電気室 発電機室 脱臭気室
	し渣焼却場	1 式			脱臭設備
宮丸中継ポンプ場	主ポンプ	3 台	着脱式水中汚水ポンプ	約 5 m <sup>3</sup> /min	3/3
甲斐元ポンプ場	主ポンプ	2 台	横軸軸流水中ポンプ	約 225 m <sup>3</sup> /min	2/2
	スクリーン	1 台	引揚式除塵機		
	電気室	1 棟	鉄筋コンクリート造り		電気室 発電機室
沼川ポンプ場	主ポンプ	2 台	横軸軸流水中ポンプ	約 180 m <sup>3</sup> /min	2/2
	スクリーン	1 台	引揚式除塵機		
	電気室	1 棟	鉄筋コンクリート造り		電気室 発電機室
岳下ポンプ場	主ポンプ	2 台	横軸軸流水中ポンプ	約 150 m <sup>3</sup> /min	2/2
	スクリーン	1 台	引揚式除塵機		
	電気室	1 棟	鉄筋コンクリート造り		電気室 発電機室
都島ポンプ場	主ポンプ	3 台	コラム形斜流水中モーターポンプ	約 90 m <sup>3</sup> /min	3/3
	スクリーン	1 台	引揚式除塵機		
	電気室	1 棟	鉄筋コンクリート造り		電気室 発電機室

(第7表)

貯留施設調書				
排水区の名称	主要な貯留施設の 名称	主要な貯留施設の 位置	貯留能力 (単位:立方メートル)	摘要
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

## その他事業に関する書類

### (1) 施設の位置に関する方針

#### (様式1) 施設の位置に関する方針

主要な施策	整備水準				事業の重点化・効率化の方針	中期目標達成のための 主要な事業	備考			
	指標等	現在 (令和3年度末)	中期目標 (令和13年度末)	長期目標						
汚水処理	下水道整備率	90.3 %	94.5 %	100 %	令和2年度に見直しした「第2次都市生活排水対策計画」に基づき、既定事業計画区域内の未整備区域から順に整備を進める。	・鷹尾地区汚水枝線整備	整備区域面積 ÷ 全体計画区域面積 (2,490.8ha)			
浸水対策	都市浸水対策 達成率	82.6 %	92.3 %	100 %	既存水路等のストックを活用し浸水危険度の高い区域から段階的な整備を行う。	・雨水枝線整備 ・ポンプ場整備	整備区域面積 ÷ 都市浸水対策区域面積 (1,701.0ha)			
耐水化	水害時における機能確保率	処理場	揚水機能が確保された施設数 (管理棟、ポンプ棟)	50.0 %	100 %	100 %	令和3年度に策定した耐水化計画に基づき、段階的な整備を行う。	・防水扉、止水版の設置 ・窓の開口閉塞及び移設 ・防水型マンホールの設置	対策施設数 ÷ 全施設数(6施設)	
		処理場	沈殿機能が確保された水処理系列数 (水処理棟)	50.0 %	83.3 %	100 %	100 %	令和3年度に策定した耐水化計画に基づき、段階的な整備を行う。	・防水扉、止水版の設置 ・窓の開口閉塞及び移設 ・防水型マンホールの設置	対策施設数 ÷ 全施設数(6施設)
		処理場	汚泥処理機能が確保された施設数 (汚泥処理棟)	50.0 %	100 %	100 %	100 %	令和3年度に策定した耐水化計画に基づき、段階的な整備を行う。	・防水扉、止水版の設置 ・窓の開口閉塞及び移設 ・防水型マンホールの設置	対策施設数 ÷ 全施設数(6施設)
		(ポンプ場)	揚水機能が確保された施設数 (管理棟、ポンプ棟)	0 %	100 %	100 %	100 %	令和3年度に策定した耐水化計画に基づき、段階的な整備を行う。	・防水扉、止水版の設置	対策施設数 ÷ 全施設数(2施設)
		(雨水ポンプ場)	揚水機能が確保された施設数 (管理棟、ポンプ棟)	0 %	75.0 %	100 %	100 %	令和3年度に策定した耐水化計画に基づき、段階的な整備を行う。	・防水扉、止水版の設置 ・窓の開口閉塞及び移設 ・防水型マンホールの設置 ・壁新設による閉塞	対策施設数 ÷ 全施設数(4施設)
耐震化	災害時における機能確保率	重要な幹線等	46.6 %	52.4 %	100 %	100 %	令和2年度に策定した管路施設総合地震対策計画に基づき、段階的な整備を行う。	・管更生工事	耐震性能確保管路延長 ÷ 全延長(49.8km)	
		処理場	66.7 %	88.9 %	100 %	100 %	令和2年度に策定した総合地震対策計画に基づき、段階的な整備を行う。	・耐震補強工事	対策施設数 ÷ 全施設数(6施設)	
		ポンプ場	66.7 %	100 %	100 %	100 %	令和2年度に策定した総合地震対策計画に基づき、段階的な整備を行う。	・耐震補強工事	対策施設数 ÷ 全施設数(6施設)	
合流式下水道の改善	合流式下水道改善率	100 %	100 %	100 %	-	-	-			
汚泥の再生利用	燃料又は肥料としての有効利用された割合	100 %	100 %	100 %	現状で発生汚泥量の全量を肥料化している。今後も継続して発生汚泥の肥料化を行う。	-	-			

(2) 施設の機能の維持に関する方針

(様式2) 施設の機能の維持に関する方針

a) 主要な施設に係る主な装置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

6処理区(中央・都城・山之口・高城・山田・高崎)共通

主要な施設	点検・調査計画
管渠施設	点検：下水道施行令第5条の12第1項第3号に基づく点検を行うマンホールは5年に1回以上とする。 調査：10年に1回、または点検の結果、異状の可能性のある個所についてテレビカメラ調査等による調査を実施する。
ポンプ施設	状態監視保全を基本とし、土木・建築施設については10～20年に1回、機械設備については7年に1回、点検を実施し、異状を確認した場合、調査を実施し、修繕・改築の必要性を検討する。
水処理施設	状態監視保全を基本とし、土木・建築施設については10～20年に1回、機械設備については7年に1回、点検を実施し、異状を確認した場合、調査を実施し、修繕・改築の必要性を検討する。
汚泥処理施設	状態監視保全を基本とし、土木・建築施設については10～20年に1回、機械設備については7年に1回、点検を実施し、異状を確認した場合、調査を実施し、修繕・改築の必要性を検討する。

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

6処理区(中央・都城・山之口・高城・山田・高崎)共通

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	緊急度Ⅰで改築、緊急度Ⅱで修繕または改築を実施とする。
ポンプ施設	健全度2以下で改築、健全度3以下で修繕を検討する。
水処理施設	健全度2以下で改築、健全度3以下で修繕を検討する。
汚泥処理施設	健全度2以下で改築、健全度3以下で修繕を検討する。

iii) 改築事業の概要

中央処理区

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	管渠更新 L=0.61km
ポンプ施設	汚泥ポンプ設備
水処理施設	消毒設備
汚泥処理施設	機械濃縮設備、消化設備

都城処理区

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	管渠更新 L=0.01km
ポンプ施設	該当なし
水処理施設	計測設備(水処理)
汚泥処理施設	脱水設備、計測設備(汚泥処理)

山之口処理区

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	該当なし
ポンプ施設	該当なし
水処理施設	該当なし
汚泥処理施設	該当なし

高城処理区

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	該当なし
ポンプ施設	該当なし
水処理施設	該当なし
汚泥処理施設	移動脱水車更新

山田処理区

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	該当なし
ポンプ施設	該当なし
水処理施設	該当なし
汚泥処理施設	該当なし

高崎処理区

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	管渠更新 L=0.23km
ポンプ施設	該当なし
水処理施設	該当なし
汚泥処理施設	該当なし

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し (年あたりの概ねの事業規模の試算)	試算年次	試算の前提条件
年当たり概ね 15億4千万円 (6処理区合計)	概ね 100年後	<ul style="list-style-type: none"> <li>■管渠施設</li> <li>◇目標耐用年数75年で改築</li> <li>■ポンプ施設、水処理施設、汚泥処理施設</li> <li>◇土木・建築は目標耐用年数75年で改築</li> <li>◇機械・電気は目標耐用年数25年で改築</li> </ul>

(様式3) 財政計画

イ) 経費の部

6処理区合計

単位:(百万円)

年次	イ 経費の部										計	合計
	建設費					うち用地費	起債償還費	維持管理費	その他	計		
	管渠	ポンプ場	処理場	その他	計							
過年度実績	46,183	2,181	22,602	1,139	72,105	1,056	46,095	22,607	0	68,702	140,807	
令和3年度まで	47,777	2,169	22,555	1,735	74,236	1,056	45,450	22,676	5,215	73,341	147,577	
令和4年度見込み	187	0	243	0	430	0	1,649	673	0	2,322	2,752	
令和5年度見込み	378	0	386	63	827	0	1,091	712	0	1,803	2,630	
令和6年度見込み	187	0	243	0	430	0	1,656	665	0	2,321	2,751	
令和7年度見込み	360	0	673	62	1,095	0	1,089	721	0	1,810	2,905	
令和8年度見込み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和9年度見込み	372	0	1,174	62	1,608	0	1,088	745	0	1,833	3,441	
令和10年度見込み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和11年度見込み	352	0	1,209	61	1,622	0	1,032	738	0	1,770	3,392	
令和12年度見込み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和13年度見込み	217	0	69	61	347	0	1,016	734	0	1,750	2,097	
令和14年度見込み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和15年度見込み	250	0	1,084	61	1,395	0	991	794	0	1,785	3,180	
令和16年度見込み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和17年度見込み	250	0	1,084	61	1,395	0	961	794	0	1,755	3,150	
小計	374	0	486	0	860	0	3,305	1,338	0	4,643	5,503	
令和4～令和10年度	2,179	0	5,679	431	8,289	0	7,268	5,238	0	12,506	20,795	
合計	46,557	2,181	23,088	1,139	72,965	1,056	49,400	23,945	0	73,345	146,310	
	49,956	2,169	28,234	2,166	82,525	1,056	52,718	27,914	5,215	85,847	168,372	

記載要領

1. 流域関連公共下水道は、「建設改良費」の欄に建設費負担金、「維持管理費」の欄に管理運営費負担金を含む。
2. 「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。

ロ) 財源の部

6処理区合計

単位:(百万円)

年次	ロ 財源の部										計	合計
	建設費					計	維持管理費及び起債償還費					
	国費	起債	他会計繰入金	受益者負担金	その他		使用料	他会計繰入金	その他	計		
過年度実績	27,632	37,358	5,153	1,671	291	72,105	29,890	38,812	0	68,702	140,807	
令和3年度まで	28,003	38,291	5,355	1,713	874	74,236	28,680	37,248	7,413	73,341	147,577	
令和4年度見込み	186	198	38	8	0	430	1,593	729	0	2,322	2,752	
令和5年度見込み	307	436	73	9	2	827	1,803	0	0	1,803	2,630	
令和6年度見込み	186	198	38	8	0	430	1,593	728	0	2,321	2,751	
令和7年度見込み	472	540	76	7	0	1,095	1,810	0	0	1,810	2,905	
令和8年度見込み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和9年度見込み	759	765	14	7	63	1,608	1,833	0	0	1,833	3,441	
令和10年度見込み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和11年度見込み	773	768	13	7	61	1,622	1,770	0	0	1,770	3,392	
令和12年度見込み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和13年度見込み	83	183	12	6	63	347	1,750	0	0	1,750	2,097	
令和14年度見込み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和15年度見込み	657	655	15	7	61	1,395	1,785	0	0	1,785	3,180	
令和16年度見込み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和17年度見込み	657	655	15	7	61	1,395	1,755	0	0	1,755	3,150	
小計	372	396	76	16	0	860	3,186	1,457	0	4,643	5,503	
令和4～令和10年度	3,708	4,002	218	50	311	8,289	12,506	0	0	12,506	20,795	
合計	28,004	37,754	5,229	1,687	291	72,965	33,076	40,269	0	73,345	146,310	
	31,711	42,293	5,573	1,763	1,185	82,525	41,186	37,248	7,413	85,847	168,372	
下水道使用料 ※関連事項	接続率: 83.3% (令和3年度) → 86.8% (令和10年度)											
	講じる対策: 市HP・市広報誌での水洗化便所改造資金融資制度の案内、供用開始区域の情報提供 各戸訪問の実施、イベント時の広報の実施											
	有収率: 90.7% (令和3年度) → 90.7% (令和10年度)											
	講じる対策: 有収率は90%以上で推移しており、現状で特段、問題はない。 ただし、管渠の点検・調査により浸入水が確認された場合には、 有収率向上の観点から対策を実施する。											
その他の講じる対策												

記載要領

1. 「建設改良費」の「その他」の欄には、工事費負担金、都道府県別補助金を記載する。なお、流域下水道は建設費負担金を含んで記載する。
2. 「維持管理費及び起債元利償還費」の「その他」の欄には、都道府県補助金、積立金取り崩し額等を記載する。なお、流域下水道は管理運営費負担金を含んで記載する。
3. 下水道使用料については、最近の有収水量の動向、国立社会保険、人口問題研究等による人口・世帯数の見直し、企業立地の見直し等を踏まえた上で策定すること。
4. 「下水道使用料※関連事項」の講じる対策の記載にあたっては、「下水道経営改善ガイドライン(平成26年6月、国土交通省・(公社)日本下水道協会)」等も必要に応じて参照すること。
5. 「下水道使用料※関連事項」の「その他講じる対策」の欄には、例えば、下水道使用料の見直し検討や徴収対策の取組について記載する。